

災害被害を軽減する国民運動について

～一人ひとりが主体となって日ごろから行動しましょう～

「災害被害を軽減する国民運動」は、誰にでも起こりうる災害による被害を少しでも軽減するため、各個人や地域コミュニティにおいて、自らの生命・財産や地域の暮らしを守るための取組を進め、社会全体の防災力を向上させることを目的にしています。

災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針の概要

はじめに

～安全・安心に価値を見だし行動へ～

- ・安全、安心を得るために自助、共助、公助の取組が必要
- ・個人や家庭、地域、企業等が減災のための行動と投資を息長く行う国民運動へ

3 企業や家庭等における安全への投資の促進 (投資のインセンティブ)

- ・職場や自宅で安全への投資を促進
- ・ビジネス街、商店街における防災意識の醸成（「守る防災から攻める防災へ」）
- ・事業継続計画（BCP）への取組の促進



耐震補強工事の一例

1 防災（減災）活動へのより広い層の参加 (マスの拡大)

- ・地域の祭りに防災のコーナーを
- ・防災訓練の際に家具備品の固定
- ・防災教育の充実

学校教育の充実、大学生の課外活動の促進、公民館の防災講座の開催



ぼうさい探検隊

4 より幅広い連携の促進 (様々な組織が参加するネットワーク)

- ・国の機関、自治体、学校、公民館、PTA、企業、ボランティア団体などの連携



ガソリンスタンドを使った帰宅困難者支援訓練

2 正しい知識を魅力的な形でわかりやすく提供 (良いコンテンツを開発)

- ・絵本や写真集、紙芝居、ゲーム等多様な媒体の活用
- ・災害の体験談の活用



紙芝居「いなむらの火」

5 国民一人一人、各界各層における具体的な行動の 継続的な実践（息の長い活動）

- ・地域ごとに防災活動の推進会議の設置を促進
- ・地域、学校、職場等における防災活動の優良事例の表彰



防災ポスターコンクール
防災担当大臣賞

※詳しくは、「防災情報のページ」(<http://www.bousai.go.jp/km/index.html>)をご参照ください。

自助・共助の取組の推進には、 地域のさまざまな団体が連携することが効果的です

国民運動の広がりには、地域ごとに、自治体や防災活動に積極的な団体が中心となり、さまざまな組織・団体が連携する防災体制を構築し、維持していくことが必要です。また、中心となる団体が選んだテーマを話題に他の地域の団体に声をかけ、意見交換をしながら、各団体の得意分野を生かした連携を進めていくことが活動の広がりにつながると期待されています。



国民運動に関連する情報ライブラリの活用

「災害被害を軽減する国民運動」に関する情報は、<http://www.bousai.go.jp/km/> をクリックすれば、誰でも簡単に手に入れることができます。






国民運動のホームページには、この「減災のてびき」をはじめ、全国で既に実践されている活動事例や、災害写真・映像、防災知識を高める教材など、いろいろな立場、さまざまな場面で防災活動を始めるときに役立つ情報がいっぱいです。

また、「一日前プロジェクト」のサイトでは、被災体験に基づく小さな物語がたくさん集められています。きっと、「防災への気づき・備え」につながることでしょう。

なお、本ホームページは、内閣府の「防災情報のページ」(<http://www.bousai.go.jp/>) や、「みんなで防災」のページ(<http://www.bousai.go.jp/minna/>) からアクセスできます。



情報ライブラリの主な内容

-  **減災のてびき**
この小冊子が掲載されています。
-  **一日前プロジェクト**
自然災害で被害を受けた方々の物語
-  **減災への取組**
さまざまな団体の取組の事例紹介
-  **災害の記録**
災害写真や災害映像、CGシミュレーションなど
-  **学ぶ**
耐震補強シミュレーションや歴史、ゲームなど災害を多方面から学ぶための教材紹介
-  **情報リンク**
災害や防災に関するお役立情報リンク
…など